

応援します！ # パートナーシップ構築宣言

「繊細な美しさ」、ガラスビーズの TOHO BEADS

■取引先とともに、地域とともに

ビーズの起源は、10 万年前に遡る。古くは貝や石で作っていたものが、現在ではガラスへと代わっており、調べてみるとなかなか面白い歴史を持つ。

さて、ガラスでできた小さなビーズをガラスビーズと呼んでいるが、劣化しにくく、色ムラ等のない高品質のガラスビーズを製造しているのが、広島市に本社を置く TOHO BEADS である。



ガラスビーズの原料は、主に珪石粉・ソーダ灰などのガラス原料と着色原料であるが、「そこにしかない原材料」を取り扱っている取引先も多く、日頃から関係性を大切にし、共存共栄を図っている。

また、安佐北区大林に立地するトーホー株式会社広島工場では、大林学区地域運営委員会【LMO 大林】へ参画し、「住んでよい、住んでよかったまちづくり」の実現のため、地域との協働活動を行っている。代表的な取り組みとして、毎年11月23日に自社敷地内で「大林 木と食の里祭り」を地域住民のみなさんとともに企画、開催している。

■職人技が光るビーズを世界へ届ける

ビーズの製造工程は、原料調合から着色・玉虫・メッキ・オーロラといった最終の二次加工まで、多いものだと30工程にのぼる。

そのほとんどを手作業で行うことにより、多彩で繊細な美しさを実現している。

「繊細な感性」と「職人技」により、技が光る独特のビーズとして、世界中のユーザーへ届けている。



■ガラスビーズで世界を明るく照らす



ビーズの語源は「祈り、願い」。

人と人を繋ぐためのものとして活用されてきた歴史があることから、1951年の創業以降、自社のパーパスを「Connecting People」として、平和を発信する広島の地から全世界にビーズを届けてきた。

また、ビーズワークは設備投資の要らない事業であり、誰でもが参画できる事業であることから、長崎の就労支援施設と協力し、自社ビーズ製品を使ったアクセサリーブランドを立ち上げ、主に首都圏にて販売している。

【会社概要】

会社名：トーホー株式会社

所在地：広島県広島市西区三篠町2丁目19-19

パートナーシップ構築宣言日：2024年11月1日

<https://www.biz-partnership.jp/declaration/77857-05-13-hiroshima.pdf>

■担当者の一押しポイント

同社は、日本人の感性を活かした職人技のものづくりを続ける企業である。過去には「ガラスの里」という体験型施設を運営しており、広島県内外に広く親しまれていた。現在も、イベント参加やコンテスト開催など、人と人、地域と未来を繋ぐような取り組みを行っている企業だと感じました。

